

地方創生特別委員会

答 募集をかけ池田高校の生徒さんの作品で決定した。今後は色んなところで活用していく。

問 池田町に仕事をつくり、安心して働ける「山のふもと水さらさら」では、池田町の農産物として何が良かったのか。

答 販売が一番売れているのが、お米で全体的に需要があり、PRも良かったと思われる。

問 魅力発信の情報誌「いけ本」作成に議会も目を通しておきたいが。

答 ダイジェスト版の発行など、今後、議会の方々にも目を通して頂き発行という流れをとりたい。

問 ふるさと納税の返礼品で、地方創生総合戦略プロジェクトを通して何があるのか。

答 お米が4団体と、お茶、夜光タスキがある。

問 「アイラブ池田」のロゴマークの公募・制作は、どうなったのか。

答 募集をかけ池田高校の生徒さんの作品で決定した。

今後は色んなところで活用していく。

問 池野駅駅舎の利用人数年度目標値、26,300人は、イベント人数も含まれた数字なのか。

答 駅舎の利用者で、イベントは別である。

問 子育て・就労応援センターで、就労相談や学習講座は何回開催されたのか。

答 2ヶ月に一度、第4火曜日に、ハローワークからの出張相談があり、講座は来年度実施し、就労に結びつけていきたい。

問 西濃圏域内で池田、揖斐川以外でのレンタサイクルの設置及び連携は、どこまで進んでいるのか。

答 当初は沿線市町で取り組んできたが、大野町「道の駅」や、神戸町もやってみたいとの話があった。

問 大津谷パーベキユーカーデンの使用人数で平成30年度は、3,941人とある

が、第1部、10時～14時、第2部、16時～20時の使用人数の内訳は。

答 第1部、第2部の区切りで集計はしていないが、休日は第1部が多く、比率としては、第1部が7割程度である。

問 「どうせ住むなら池田町」移住ツアーの開催で、空き屋の斡旋など今後の展開の構想は。

答 今年度、不動産関係者等を含めた空き屋対策協議会を作ったので、この3月に再度、詳しく調査を実施し、PRしていく。

要望 資料について、もう少し地方創生プロジェクト全体を通して見られる資料の作成をお願いしたい。

養老鉄道存続特別委員会

問 通勤通学の時間帯は非常に電車が混んでいるが、新車輦になって緩和されるのか、また、定員はどのくらいか。

答 先頭車輦が140名、中間車輦150名で、サイズ的に余り変わりはない。

問 養老線支援基金の10億円は、現在どのくらいあるのか。

答 今年度末で約8億3千万円の残高だが、車輦更新など大きな支出がなければ、平成35年度には10億円を確保できると試算している。

問 回数券「マイレールチケット21」は、色々な町独自の補助を付けて販売しているが、揖斐駅から乗車する場合、補助は有るのか。

答 無い場合は、補助をもうける検討はしているのか。対応を考えたい。

問 管理機構への支援金500万円はどうなっているのか。

答 皆様の協力で500万円を集める事ができた。

問 管理機構への支援は、池田町では、町内の各団体、各地区、各小学校のPTA

などの協力を得て支援する事ができたが、沿線市町で足並みはそろったのか。

答 そろっていない市町もあり、今年度間に合わない市町は、来年度に必ず補填するとの約束がしてある。

問 新車輦導入計画は有ると認識しているが、乗り心地について揺れが大きい、線路の補修計画などはあるのか。

答 レール交換、枕木交換、枕木のコンクリート化など、順次行っていく計画である。

問 管理機構の中で、公共交通を残していくための将来を見通した、レールバスや自動運転などの勉強会はあるのか。

答 将来的に人件費の問題、無人化の問題などを踏まえて、ある時期が来たら社会情勢を見て判断していきたい。